



# 米国株 MARKET PICK UP



## 先週の米国株式市場—大統領就任式を前にダウ平均は続落—

	前週終値	1月16日	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	19,885.73	休場	19,826.77	19,804.72	19,732.40	19,827.25	-58.48	-0.29%
騰落幅			-58.96	-22.05	-72.32	+94.85		
S&P500	2,274.64		2,267.89	2,271.89	2,263.69	2,271.31	-3.33	-0.15%
騰落幅			-6.75	+4.00	-8.20	+7.62		
ナスダック総合指数	5,574.12	5,538.73	5,555.65	5,540.08	5,555.33	-18.78	-0.34%	
騰落幅		-35.39	+16.93	-15.57	+15.25			

### ＜先週の概況＞

先週の米国市場は、ダウ平均が週間で58ドル安と続落しました。20日に大統領就任式を控えるなか、週初から下げて始まったダウ平均は19日まで5日続落となりました。就任式当日は企業の決算発表が良好だったこともあり、94ドル高と反発しています。なお、16日はマーティン・ルーサーキングデーの祝日で休場でした。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## 米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	16.6	3.4	2.6%
S&P500	17.5	2.9	2.1%
ナスダック総合指数	21.0	3.7	1.3%

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2017年1月20日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

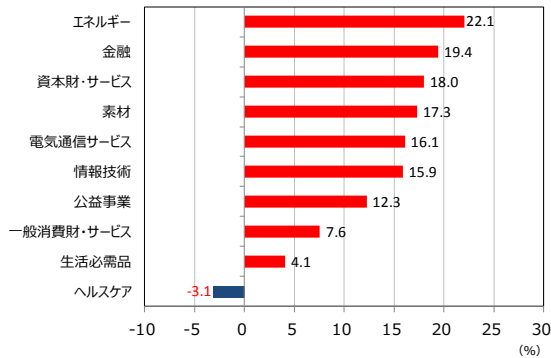
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

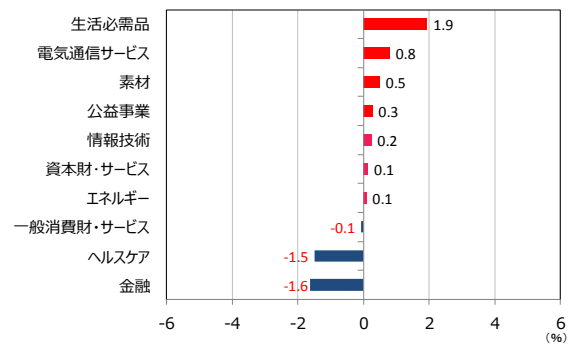
## 業種別リターン

S&P500 業種別昨年来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (1/17-1/20)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
PG	プロクター・アンド・ギャンブル	4.1
IBM	IBM	1.9
KO	コカ・コーラ	1.1
TRV	トラベラーズ・カンパニーズ	0.8
V	ビザ	0.8
AAPL	アップル	0.8
MCD	マクドナルド	0.6
MMM	3M	0.6
NKE	ナイキ	0.5
UTX	イテット・テクノロジーズ	0.5

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (1/17-1/20)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	-5.0
JPM	JPMorgan Chase & Co.	-3.5
GE	ゼネラル・エレクトリック	-2.6
PFE	ファイザー	-2.3
UNH	イテットヘルス・グループ	-1.9
DD	DuPont de Nemours & Co.	-0.8
CVX	シエロ	-0.7
AXP	アメリカン・エキスプレス	-0.5
XOM	エクソンモービル	-0.5
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	-0.4

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

### <上昇>

ダウ平均を構成する 30 銘柄のうち 19 銘柄が上昇しました。プロクター・アンド・ギャンブル (PG) は業績見通しを引き上げたことが好感され、週間で 4%超の大幅高となりました。

### <下落>

金融株が売られゴールドマン・サックス (GS) が 5%安、JP モルガン・チェース (JPM) が 3.5%安とそれぞれ大きく下落しました。また、決算で市場予想以上に売上高が減少したゼネラル・エレクトリック (GE) も 2.6%安となっています。

## 先週発表された主な経済指標

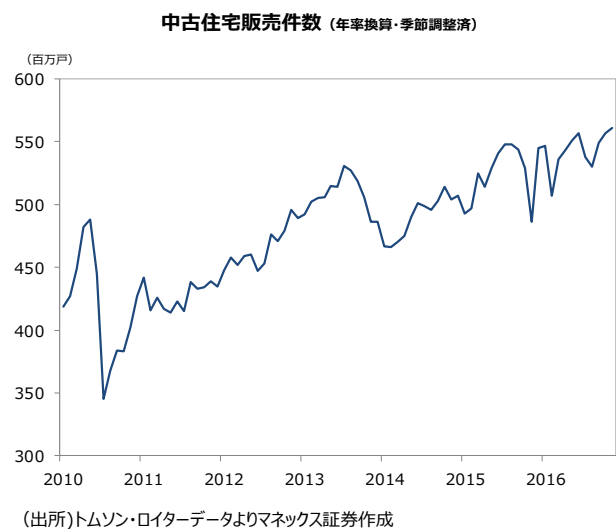
### 12月 米地区連銀経済報告（ベージュブック）

18日に発表された米地区連銀経済報告（ベージュブック）では、大半の地域で引き続き緩やかなペースで拡大を続けたとの認識が示されました。労働市場は緩やかに改善し、物価上昇圧力がやや高まっていると分析されています。

## 今後発表される主な経済指標

12月 中古住宅販売件数      市場予想 550万件   前月 561万件

24日に12月の中古住宅販売件数が発表されます。11月の販売件数は9年9ヶ月ぶりの高水準で、住宅市場の好調が示唆されました。市場予想では12月分はやや販売件数が鈍ると予測されています。



当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会